

## 単元名 にぎにぎねん土(立体)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 握り方を変えたり、つまみ出し方やのばし方を工夫したりして立体に表すことができる。  
 (2) 握ってできた形から自分の表したいものを思い付いたり、つくりながら新しい形を考えたりすることができるとともに、感じたことを話したり、友達の話の聞いたりしながら、作品の楽しさや面白さに気付くことができる。  
 (3) 粘土を握った形から思い付いて立体に表すことを楽しもうとする。

## 標準的な展開例

02080106\_001

【準備等】粘土（1kg位）、粘土板、雑巾、霧吹き など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 握ってできた形を生かしてつくりたいものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や指導者の演示を見たり、考えを交流したりして活動のイメージをもつ。</li> <li>粘土を握ることで、どんな形ができるか試す。           <ul style="list-style-type: none"> <li>つまみ出す。</li> <li>のばす。</li> <li>穴を開ける。</li> <li>つかむように握る。</li> <li>指で押す。</li> </ul> </li> <li>★粘土を握ってできた形から、面白いものをつくろう</li> <li>粘土を握ってできた形をいろいろな方向から見ることで表したい形を考える。           <ul style="list-style-type: none"> <li>こっちから見ると貝殻に見えてきたぞ。</li> <li>もう少し薄くのばしてみよう。</li> <li>穴を開けてみよう。</li> </ul> </li> <li>粘土を握ってできた形を生かして、組み合わせたり、工夫したりして表す。</li> <li>自分や友達のつくったものを見て、形のよさや面白さ、表し方の工夫について話し合う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>これは、ハリネズミかな。背中のトゲが面白いよ。</li> <li>つまんで頭をつくったよ。</li> <li>友達のうずまき、僕も真似してみたいな。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書1・2下 P.12, 13</li> <li>作品の題や場面の様子から、気付いたことを発表させる。</li> <li>教師が握ってできた形を、いろいろな方向から見て、様々な見立てのイメージをもたせ、板書して全体で共有する。</li> <li>粘土をこねて軟らかくして、感触に慣れさせる。</li> <li>粘土を3種類程度（大・中・小）の大きさごとに分けさせる。</li> <li>児童が試しながら、自分の思いに合った大きさの粘土を選べるようにする。</li> <li>握り方を変えたり、指先を使ってみたり、自分の手の使い方をいろいろ変えて試したり、周りの友達の方法を真似したりして、偶然を楽しみながら活動するよう促す。</li> <li>握ってできた形を大切にするように声掛けをする。</li> <li>何度も試したりやり直したりしてもよいことを伝え、体全体の感覚を十分使っているいろいろな試しながら発想することを促す。</li> <li>戸惑っている児童には、一緒に粘土を握ったり、形を見ながら話したりして思い付けるようにする。</li> <li>【評】作品を通して、握ってできた形から自分の表したいものを思い付いたり、作りながら新しい形を考えたりする「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】粘土を握った形から思い付いて立体に表す活動を通して、表したいことを工夫する「知識・技能」を評価する。</li> <li>どんな形に見えるかを角度を変えさせながら見せて考えさせることで、形の面白さに気付けるようにする。</li> <li>友達がつくったもののよさに注目させる。</li> <li>【評】自分や友達の作品のよさを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】作品やこれまでの学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】